

## 「自分をついに」 ～空しい事にむけていませんか？～

エペソ3：17～19

今年の風邪は熱が出にくく、すっきりしない症状が長く続きます。いつの間にか、風邪っぽくなり、気付けば嫌な症状が出てくる。この風邪のように悪魔もこっそり私たちの近くにきては、そそのかす。風邪も悪魔も、悪いものは悪い方法に従っていきます。悪いものの根源は一つで、悪魔の悪い知恵の根源は神の知恵です。私たちの用い方によって神の知恵は「悪」にも「善」にもなります。「二心」も同じです。「愛」が失われているとき、すなわち神様から離れた部分があるとき、人は「二心」を持ちます。憎しみ・「～でなければならない」・怠惰……。そのような感情が湧き上がるとき「二心」になっているのではないのでしょうか。『神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。』（ヘブル4:12）霊（私たちの本当の価値観）、たましい（特に感情）、これが隔たっており、神はそこを刺し通し、隔たれたものを繋げようとして下さっています。それは御言葉であり、「イエスを信じる信仰によって人は救われる。」この言葉どおり、イエス様の十字架の御業を信じることで神と人は繋がることのできるのです。ですから、イエス様を信じている私たちの霊とたましいは分離してはいけません。分離している場合、原因のほとんどは、何らかの傷によるものです。正しい事をしようとしたとき、この傷の部分が出てしまったのでは、本当に正しいことはできません。悪魔によって分離されてしまった所が出たとき、私たちはどうなるのか？『造られたもので、神の前で隠れおおせるものは何一つなく、神の目には、すべてが裸であり、さらけ出されています。私たちはこの神に対して弁明をするのです。』（ヘブル4:13）人間は、自らが経験しなくても、人が経験したことを通してまるで自分が経験したかのように受け取ることができます。それで傷ついてしまうこともあります。この能力はアダムとイヴが悪魔にそそのかされて罪を犯してしまったことにより知らなくてよいことを知ろうとする欲求が強いことが原因の一つにあります。善悪を知ってしまった私たちは全てを知ろうとします。知る事で存在理由を見出しているのです。ですから「知らない」という空白を埋めるために「知ろう」とするのではなく、私たちの分離されているところをついにしていける必要があるのです。

霊とたましいが分離されているのは、人から受ける言葉も素直には受け取れません。そして人に正しいことも出来なくなります。私たちは一度の感情で物事を判断してしまいます。「あの時こうだったから、今回もそうなる」と決め付けてしまうのです。これは感情のなせる技です。霊はわかっているのに霊とたましいが分離されているのは正しく物事を受け取ることが出来ません。私たちは空しい事に目を向けていないのでしょうか。詩篇の24:4に「心のきよらかな人」とありますが、この「心」とは「感情」を意味します。霊が救われたとき一番最初が変わるのは意志です。ですから意志はわりと正しい、しかし感情は汚いことが多いのです。正しい意志に感情を従わせているかということ、皆さんはどうでしょう？ダビデは詩篇のなかで、汚れた感情を持ったままでは主の山には登れないと詩っています。癒されている部分は意志と感情の間に正しい御言葉があります。しかしまだ感情が意志を支配しているようであれば、その傷は癒されてはいけません。感情と霊をついにしようとしていくとき私たちにとっては辛いことで苦しいことですが、それをするとき人は輝いていくのです。神は愛しているから私たちを造ったときのもとの姿に戻そうとして下さっているのです。霊とたましい分離されている部分が自分にはある事を知っていたダビデはいつも主を前に置いていました。だから空しいことに目を向けずに絶望することなく信じ続けていくことができました。私たちもダビデのように信じぬくことが出来れば、ダビデが多くの人に助けられ神の御心を成し遂げて行ったように、私たちも多くの人と神の御心を成し遂げて行くことが出来るでしょう。そのためには自分をついにする必要があります。①価値観を誤らない!!!（みことば）（詩篇42:1～5）自分が正しいと思うとき、ほとんどが間違っていることを知り、認めましょう。「自分が」ではなく「聖書」にこうあるから「正しい」と判断できる時のみ正しいと言えるのです。愛による御言葉で正しい価値観を持ちましょう。②ことばを偽りから知恵へ!!!（箴言18:4～8）正しいことを知恵をもって語りましょう。聞く時も同じです。その実を見分けながら愛を持って聞けば正しい事を受け取ることが出来ます。③感情は制御!!!（ヤコブ1:19～23,マタイ11:28～30）知識・意志は神が与えられます。しかし感情は自分でしか制御することができません。あなたの内にある御言葉を選んで制御していくしかありません。みことばを実行する人になりましょう。行いのない信仰は死んでいると聖書に書かれています。私たちが死んでしまわないように、神様の愛に自分を一つにすることで応えていきましょう！そうすれば、私たちの信仰はいよいよ増し加えられ多くの御心を成し遂げて行くことができる人生になることでしょう！（要約者：牧唯恵）